

千葉県における環境大気中のダイオキシン類濃度について - 2008 年度の結果 -

山本 徹 半野勝正 吉澤 正 清水 明 宇野健一

1 はじめに

千葉県では、ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づき、毎年度環境大気中のダイオキシン類の濃度を把握するための調査を行っている。ここでは 2008 年度の調査結果について報告する。

なお、本調査は千葉県環境生活部大気保全課の事業の一環として行うものである。

あり、これは他自治体での分析でも近年見られる現象であるが原因はよくわかっていない。年間平均値は 0.012 ~ 0.059 pg-TEQ/m³ であり、すべての地点で環境基準値(0.6 pg-TEQ/m³)を下回る結果であった。

2 調査地点・調査時期

調査地点(12 地点)を表 1 に示す。調査時期は、夏季(2008 年 7 月 24 日~7 月 31 日)及び冬季(2009 年 1 月 21 日~28 日)の 2 季 2 回とした。

試料採取はすべての地点について委託機関(社団法人埼玉県環境検査研究協会)が行い、分析は県北 6 地点(表 1 の No. 1~6)を委託機関、県南 6 地点(No. 7~12)を環境研究センターが担当した。

表 1 2008 年度大気環境調査結果 (単位:pg-TEQ/m³)

No.	地点名	夏季	冬季	年平均
1	野田市野田	0.038	0.079	0.059
2	印西市高花	0.027	0.085	0.056
3	成田市加良部	0.022	0.068	0.045
4	香取市大倉	0.023	0.050	0.037
5	銚子市唐子	0.024	0.032	0.028
6	四街道市鹿渡	0.022	0.074	0.048
7	横芝光町横芝	0.025	0.068	0.047
8	茂原市高師	0.018	0.048	0.033
9	勝浦市小羽戸	0.0078	0.019	0.013
10	館山市亀ヶ原	0.10	0.013	0.057
11	君津市久保	0.019	0.051	0.035
12	鴨川市清澄	0.0071	0.016	0.012

3 結果

3.1 季節別調査結果及び年間平均値

ダイオキシン類濃度の調査結果を表 1 に示す。各地点とも夏季と冬季の濃度に差が見られ、館山市亀ヶ原を除いて全地点で冬季に濃度が高くなる傾向があった。館山市亀ヶ原で夏季に濃度が高くなった理由は O8CDD の濃度割合が高い組成となったため

3.2 年間平均値の経年変化

調査を開始した 1999 年度から 2008 年度までの年間平均値を表 2 に示す。年間平均値の経年変化を見ると、2007 年度に横芝光町横芝と茂原市高師で高くなった濃度レベルが 2008 年度では大幅に低下した。またその他の地点は調査を開始した 1999 年をピークに各地点で濃度レベルは低下し、ここ数年環境基準値を大幅に下回る低い濃度で推移している。シン類濃度の調査を行った結果、年間平均値はすべての地点で環境基準値を大きく下回った。

表 2 1999 ~ 2008 年度における年間平均値(単位:pg-TEQ/m³)

地点	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
野田市野田	0.46	0.27	0.078	0.013	0.10	0.12	0.052	0.074	0.079	0.059
印西市高花	0.46	0.17	0.13	0.012	0.088	0.10	0.051	0.079	0.044	0.056
成田市加良部	0.21	0.28	0.065	0.11	0.068	0.094	0.042	0.053	0.039	0.045
香取市大倉	0.24	0.084	0.032	0.065	0.069	0.052	0.051	0.042	0.033	0.037
銚子市唐子	0.70	0.071	0.034	0.060	0.077	0.061	0.097	0.031	0.034	0.028
四街道市鹿渡	0.56	0.12	0.077	0.12	0.074	0.086	0.052	0.066	0.043	0.048
横芝光町横芝	0.32	0.15	0.091	0.25	0.50	0.088	0.055	0.082	0.11	0.047
茂原市高師	0.19	0.16	0.076	0.097	0.047	0.049	0.031	0.098	0.17	0.033
勝浦市小羽戸	0.17	0.082	0.038	0.28	0.024	0.024	0.016	0.036	0.026	0.013
館山市亀ヶ原	0.18	0.074	0.048	0.046	0.039	0.029	0.035	0.044	0.026	0.057
君津市久保	0.35	0.15	0.11	0.14	0.056	0.065	0.047	0.055	0.044	0.035
鴨川市清澄	0.097	0.063	0.043	0.038	0.016	0.031	0.014	0.040	0.022	0.012
平均	0.33	0.14	0.069	0.12	0.10	0.067	0.045	0.058	0.056	0.039

年間平均値の経年変化を見ると各地点で濃度レベルは低下しており、法規制等による発生源対策に伴う大気への排出抑制効果が現れているものと考えられる。

4 まとめ

2008 年度に県内 12 地点で環境大気中のダイオキ